



佐野中学校夜間学級「学び直しの場」として

令和6年4月から本市に夜間中学を設置しました。正式な名前は、「泉佐野市立佐野中学校夜間学級」で、佐野中学校の中にあります。

す。

授業料は無料（生徒会費等一部負担あり）です。授業時間は午後5時30分～8時40分まで、2限と3限の間に簡単な給食があります。

夜間中学校は、戦中・戦後の混乱期に義務教育を受けることができなかった子どもが多数いたことから、教師や自治体の働きかけで設置が始まりました。近年は、中学校未卒業者だけでなく、不登校で十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した人の学び直しや、様々な理由により本国で義務教育を受けていない外国籍の人などの教育を受ける権利を保障することなどの役割も担っています。

現在、夜間中学は17都道府県に44校が設置されています。文部科学省では、夜間中学が少なくとも各都道府県・指定都市に少なくとも1校は設置されるようにと取り組みを進めています。

授業の内容は昼間の中学校と同じようにクラスがあり担任の先生がいて、学級活動もあります。国語、社会、数学、理科、英語、音楽、美術、技術・家庭、保健体育と総合的な学習の時間があります。また、必要に応じて小学校の内容もとりいれ、一人ひとりに合った学習を行っています。

生活経験や学びの経験は一人ひとり異なりますが、一人ひとりのニーズに合わせた工夫をこらした学習を行うことにより、夜間中学が「学び直しの場」として誰もが楽しく安心して学習を進めることができるように努めています。

学校園紹介



生徒主体の教育活動をめざして
～佐野中学校～

本校は、「自ら考え、判断し、主体的に行動することができる生徒」をめざす生徒像とし、日々の教育活動に取り組んでいます。今年度は、今まで活動してきた委員会に加え、「ICT委員会」が新たに加わり、様々な場面で活躍してくれました。情報機器が発展していく現代において、こういった機器を使つてのトラブルについては、毎年数件発生しています。このような現状をふまえ、「ICT委員会」では、それぞれの学年集会で「SNSトラブル」と「アプリの正しい使い方」についてPowerPointでまとめたものを使い発表を行いました。どの学年の生徒も真剣に話を聞き、自分自身の毎日の生活を振り返る、いい機会になったと思います。



また「ICT委員会」では、2月に校区小学校に出前授業にも行きました。中学校で行った内容を小学生向けに変更し、小学校6年生に向けて堂々と発表してくれました。来年度、佐野中学校に入学してくれる生徒の前で、ICT委員会の生徒は頼れる先輩として発表できていたと思います。小学生からもたくさん質問などがあり、その質問に丁寧に答えてくれていました。

来年度以降も佐野中学校区で生徒同士のつながりを増やしていき、校区全体で「生徒主体の教育活動」をめざして広げていける学校づくりを進めていきます。

活動の様子
～第三中学校～



元日に発生した「令和6年能登半島地震」で被災された方々を支援するため、第三中学校では生徒会を中心に募金活動を行いました。生徒会の呼びかけに多くの生徒や教員が応え、「被災された方を応援したい」という思いも込めて石川県へ全額寄付しました。

また、第三中学校では、毎年1年生が「総合的な学習の時間」で学んだ様々な人権課題を解決していくヒントをもらうため、人権フィールド・ワークを行っています。地域で人権を大切に活動をしている人たちにお話を聞かせていただいたり、地域にある「だれもが安心して生活できるように」という願いが込められた設備などを見学することで、人権の大切さを改めて感じることができました。

3学期には全学年で、自分の想いや考えをクラスの仲間と共有する「語る会」を実施しています。各クラスで自分のことを語る生徒の姿からは「この仲間なら安心して話ができる」という安心感と「頑張つて話をしてよかった」という達成感を感じることもできました。

